

るのではと思います。
横組みのP34。本日のメイン記事になりますが、「未来を照らすロータリー号」金委員長に尽力いただいた、児童養護施設「カルテット」の記事が掲載されています。

当クラブはさいたま市にある児童養護施設「カルテット」を訪問し、電動自転車2台を寄贈する移動例会を実施しました。社会奉仕委員会が中心となり、子どもたちの買い物や通院、進学後の移動手段などに役立ててもらおうと企画したものです。

当日は、施設長から「親と暮らせない子どもたち」の現実が語られました。話しぶりは落ち着いていましたが、胸を打つ内容でした。施設見学では、子どもたちとの交流もあり、会員一同、心を動かされるひとときを過ごしました。中でも印象的だったのは、寄贈した電動自転車が「ロータリーイエロー号」「ロータリーブルー号」と命名されていたことです。それぞれに「親愛と幸福」「信頼と支援」といった意味が込められ、子どもたちの未来を応援する気持ちが丁寧に言語化されていました。

昼食は、(福)埼玉福祉事業協会による手作り弁当を頂きました。おかげで児童と活発な交流を行うきっかけができ、心と心が通い合う素晴らしい時間となりました。今回の訪問を通じて、ロータリーの理念が地域社会に確かな形で伝わったことを実感できました。また、今後の継続的な支援への礎が築かれたとも感じています。私も参加してみて、地域の子供たちとの交流ができる、非常に良い活動だと感じましたので、これからも、多くの会員が参加していただければと思います。横組みP14から特別企画の記事が組まれています。

「参加してよかった、ポリオ根絶活動」各ロータリーで行われた「END POLIO」の活動が紹介されています。そのなかでも印象的だったのが、エピソード5の「2滴のワクチンがつなぐ未来」です。実際に、現地に足を運んで、ワクチン投与の活動に参加された方の記事が紹介されていました。2滴の経口生ワクチンは数秒の出来事だけど、その2滴に子供たちの未来が託されている。そう思うと胸が熱くなりました。取り組んでいる活動の意義やこれからの活動の原動力となる、良い経験談だと思いました。

未来を照らす「ロータリー号」

大宮西 R C

第22回地区大会

8月8日、地クラブはさいたま市にある児童養護施設「カルテット」を訪問し、電動自転車2台を寄贈する移動例会を実施しました。この機会に、社会奉仕委員会を中心として、子どもたちの買い物や通院、進学後の移動手段などに役立ててもらおうと企画したものです。

当日は、施設長から「親と暮らせない子どもたち」の現実が語られました。話しぶりは落ち着いていましたが、胸を打つ内容でした。施設見学では、子どもたちとの交流もあり、会員一同、心を動かされるひとときを過ごしました。中でも印象的だったのは、寄贈した電動自転車が「ロータリーイエロー号」「ロータリーブルー号」と命名されていたことです。それぞれに「親愛と幸福」「信頼と支援」といった意味が込められ、子どもたちの未来を応援する気持ちが丁寧に言語化されていました。

また、(福)埼玉福祉事業協会により手作り弁当を頂



きました。おかげで児童と活発な交流を行うきっかけができ、心と心が通い合う素晴らしい時間となりました。今回の訪問を通じて、ロータリーの理念が地域社会に確かな形で伝わったことを実感できました。また、今後の継続的な支援への礎が築かれたとも感じています。

い逃げをするような事もあるので、現在行っている支援事業の検証が必要

・にぎやかしに地域のバンド 罵駈'狼琉(ばたーろーる)を呼んでほしい

5. 集客について

・人集めをどうするのか?

(ポリオの時、人通りが無くて寂しかった)

・SNSを活用する

・企画書(案)を土台にして、追加で行うものは人が集まる行事、催しが必要

6. 予算や財源について

・150万円ですり足るのか? 収入源が必要ではないのか

・キッチンカーや屋台を出し、収入源 or 寄付にする

7. その他

・雨の場合の代替案はあるのか

・どの様な弱者がいるのか知る機会としたい

・この方々の困りごとを伝える場としたい

今回の事業は、地域に暮らすさまざまな立場の方に向けて、「どのような社会奉仕団体が活動しているのか」を知っていただくことを目的としています。その発信の中には、もちろん私たち大宮西ロータリークラブも含まれます。

また、私たちロータリアンもその一員として、この事業を通じて地域の方々とつながり、互いに理解を深める機会になればと考えています。

さまざまな立場の人が共に暮らし、支え合う社会を目指すという意味で、現時点でのタイトルを「市民共生フェスタ(仮)」とし、年度当初の予算範囲内で行える事業として進めてまいります。

スマイル報告

■副SAA
田口 修身



進行は副SAA 廣渡 健司が務めました



出席報告

■出席委員会 委員長
新藤 栄介



事業説明

新規地域社会奉仕事業について

■社会奉仕委員会 委員長 金 福漢

第2回新規大型社会奉仕事業
テーブルディスカッション会員意見

(R7.11.8 パレスホテル)

※理事会ですでに決議済みの予算額、修正済みについての意見は割愛しております。

1. テーマについて

・社会的弱者という表現はふさわしくないのでは?

2. 事業のターゲット、目的について

・対象者、ターゲット、目的を明確にした方がよい。

誰に対して何を発信するのか不明。

・共生に向けて開催内容が妥当なのか?

3. 参加団体について

・カルテット、大宮ろう学園の子供たちに参加してもらえるようなイベントに

・オレンジボン団体の参加

・一般の人を巻き込んだ方がよいのでは

・地域の小学生・大宮区内の人に周知、参加してもらう

・地域の団体(音楽など)に参加してもらう

・当地区の子ども食堂に声を掛けてもいいのでは

4. 内容について

・カルテット、大宮ろう学園を知ってもらう為に大宮西でブースを作る

・ポリオ基金を行う

・アルファ米炊き出しを行う(防災体験)

・防災体験は消防署に働きかけた方がいいと思う

・スポーツ体験は障がい者、一般の競技を混ぜてもいい

・子ども食堂のように本来の趣旨とは違い、大人、子供が食

